



森ボラ 通信

第235号 2021年12月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**
URL <https://www.shinrin-npo.info/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター
TEL (fax): (011) 816-7010
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ トピックス

◆ 会員例会の開催（11月30日）

～森ボラと澄川の森のこれからを考える～

森ボラはベース活動地である澄川都市環境林を“豊かな生き物を育む巨木の森”にすることを目指して、これまで20年間にわたり計画的に育林活動を行ってきました。現在は「2018 澄川環境林基本計画」に基づく「第4期5か年目標」（2018～2022年度）の達成を目指して活動しています。そして、今、手掛けてきた整理伐があと2年程で一巡する予定であることと、2023年度からの第5期5か年目標の策定作業に入る時期を迎え、澄川都市環境林を今後どのような森にしていくのか、あらためて育林と利活用の両面から検討が必要と考えています。

一方、都市環境林を掌握する札幌市においても37箇所の都市環境林、とりわけ地理的条件が良くかつ整備が進んだ澄川都市環境林を今後どのようにしていくか検討したい意向がありました。

そして、今年4月に森ボラの活動報告をする折や、9月に札幌市の担当者が澄川都市環境林を訪れた際の意見交換を経て、改めてこのことについて札幌市みどりの管理課と12月15日から協議を始めることになりました。



このため、森ボラでは会員の意見集約を図った上でこれに臨みたいと考え、幹事を中心とした13名による検討会を10月に立ち上げ、3回にわたる検討会の開催と白旗山の視察を行い、最終的に11月30日に28名が出席した会員例会で検討会の結果を説明し、出された会員の意見を反映して森ボラとしての考えをまとめました。

会員例会は、先ず森ボラの現在の立ち位置を確認する意味で、第4期5か年目標（2018～2022年度）の達成状況を確認しました。8項目に及ぶ活動目標は概ね達成済

か、あるいは達成見込みと確認できましたが、若者対策やホテル自生地環境対策においては残された課題も指摘されました。

続いてメインテーマである「澄川都市環境林の今後のあるべき姿」を検討し、『引き続き二順目の整理伐を継続して、外に向かってはセミクローズ的な現行の開放状態を維持し、環境教育活動や企業のCSR活動の場として活用していく。併せて将来的に“市民レクリエーションの里山林”として活用できるような条件整備を進めて行き、環境林を取り巻く周辺環境への注視と行政と連携した適切な対策を講じていく』ことの結論を得ました。

そして“あるべき姿”に向けて活動する上で考えられる課題について検討し、①森の整備方針、②北地区整備の進め方、③樹木園の整備、④有明第二、西野第二都市環境林の取組み、⑤環境教育のウェイトの高まりへの対応、⑥企業のCSR活動の誘致について、一定の方向付けをしました。

更に、森ボラや澄川の森のこれからの深く関わる事項についても検討を加え、札幌市への要望事項、若者対策、森ボラのSDGs活動と脱炭素社会に向けた取組み、行政や他団体との連携強化についても取組み姿勢を明らかにしました。

森ボラとしては以上の検討結果を持って札幌市との協議に臨み、札幌市の指導・協力をもらいながら森ボラと澄川の森のこれからの示す指針を年度内に作り上げていきたいと考えています。

なお、今回の会員例会でまとめた詳細は森ボラホームページの会員掲示板に掲載していますので

ご覧ください。

一生懸命頭を絞った後は、ホテルポールスター札幌で“忘年会”です。皆で会食するのは2年ぶりのことで、この日ばかりはお酒も解禁です。とは言っても依然としてコロナに気を許すわけにはいかず、隣とはパーティーションで仕切れられ少し窮屈な感じもしましたが、美味しい料理とお酒を味わい、森の話も弾み、全員がスピーチをして、ビンゴで競い、楽しいひと時を過ごしました。やはり森の仲間で飲む酒はうまい！（文・清澤）



■ 活動報告

◆ 澄川南小学校6年生（39期）卒業記念樹を植樹

昨年の卒業生（38期）は新型コロナの影響で中止となり2年ぶりの卒業記念樹植樹を10月29日に行いました。当日は3年生の時に行ったマイツリー地で自然観察会も予定していましたが森での活動が1時間ということで記念植樹のみの活動となりました。事前に記念樹看板を仕上げる為、板



は10月中旬に学校に持ち込み済みで、全員が参加されたのか非常にカラフルな記念樹板に仕上がっていました。記念樹は近くの集楽園からイタヤカエデとナナカマド各1本が朝一番で届いていました。

生徒が到着と同時に2組に分かれて植樹を開始。まずスコップと鍬で穴掘りから始め、全員が少しずつ掘り進めますが穴掘り経験もない為、中々進まない。時間だけが進みますが焦ってもしようがない。やっと穴掘りが終わり土壌改良剤（バーク材）と土を混ぜて樹の周りを埋め戻し、竹支柱をハツ掛けで固定し植樹は終わりました。

次は看板用杭打ちを力のありそうな生徒が順次掛針で打ち込むが手ごわく、協会員も手伝って杭打ちも終わり、看板をボルトナットで締め付けて完成。時間は超過しましたが、全員で記念写真を撮って無事帰路につきました。（文・大窪）



◆ イヌエンジュの緊急調査（澄川都市環境林）

11月11日、澄川都市環境林でイヌエンジュの緊急調査が行われました。これは、今夏に日本で初めてイヌエンジュからサビイロクワカミキリという外来昆虫による樹木被害が見つかったとの報道を聞き、かねてより澄川都市環境林でも枯木・枯枝が目立つイヌエンジュを調査しようということになり実施したものです。

調査地は管理小屋から市道並行路を北上して、表のNo1から9まではD-1区、No10からD-3区、No24のみD-5区です。

結果は、外来種サビイロクワカミキリの食痕は見られませんでした。調査した木が少なかったことや、中には枯死木や半身枯れがいくつか見られましたので今後も見張りが必要です。

（調査、文・酒井）



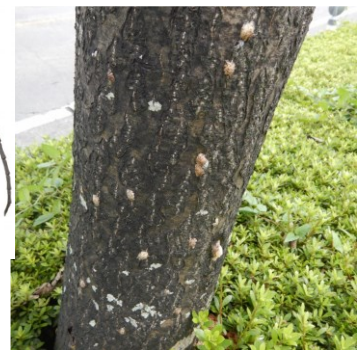
No	胸高周長	樹木の状態	No	胸高周長	樹木の状態
1	57	枝枯れ	13	50	半身枯れ
2	68	生	14	55	生き
3	40	枯死	15	27、21	二股、枯死
4	27	生	16	44	生き
5	40、39、45	三本立ち、φ45 枯死、キクイムシ	17	29	生き
6	39	枯死、ダニ	18	23、23	二股、一本枯れ
7	60、57、61	三本立ち、φ61 枯死、虫なし	19	24	生き
8	44	生き	20	54	生き
9	37	先枯れ、根元穴	21	51	生き
10	107、50	107 ワラジムシ、50 生き 場所アカエソマツ隣	22	39	生き
11	21	枯死	23	29	生き
12	87、53	生き、生き	24	83	生き、亡刈ッ No241

《サビロクワカミキリとは》

中国などが原産の外来種で、体長 約 29～37mm。サビ色の体に白い斑点があるのが特徴。幼虫は2年程度樹木の内部で過ごし、成虫になると木からでてくる。成虫は7～9月頃に出現し、樹皮に卵を産み、その卵を腹部から出す体液で塗り固めマウンド状の産卵痕を形成する。幼虫が樹木の内部を食い荒らすため、被害が進行すると木は枯死してしまう。



↑成虫(双)
産卵痕→



今夏、国内で初めて福島県郡山市で確認され、食害で木が倒れるなどの被害が出ている。主な被害樹種はイヌエンジュ、エンジュ。輸入に使われる木の梱包（こんぼう）材などに紛れ込み、国内に侵入したとみられる。（注）福島県HP、福島民報より

■ 澄川の自然 28

ヤドリギ (ヤドリギ科)

樹上生活をする半寄生の常緑広葉樹、雌雄異株。さまざまな落葉広葉樹に寄生して、宿主が葉を落とすと緑色の円い姿を現します。

ヤドリギの種子はとても粘り気のある果肉で、鳥に食べられても消化されず種子と一緒に排出され、木の枝などに付着します。

澄川の森では東側、道路沿いの高木に多数見られます。

4月頃クリーム色の小さな花が咲くのですが目立ちません。果実は葉が落ちる頃に熟します。果実の黄色のものをヤドリギ、赤いものをアカミヤドリギといって札幌では分布域があるようです。

ヤドリギは、もみじ台から野幌、大麻辺り。アカミヤドリギは真駒内流域など南西部に多い様です。私達の澄川の森では、駐車場の左向いのハルニレの木に寄生しているのはアカミヤドリギ、広場に向かう坂道の左にあるドロノキに寄生しているのはヤドリギです。

澄川は分布域の交差点に当るのではないのでしょうか。ヨーロッパでは、この木を「神の住む家」と言うことで、神聖な植物とみられ、クリスマスの装飾品として使われています。（写真/三橋・文/西野(澄)）



ヤドリギ



アカミヤドリギ

※参考文献：・モクイク樹木図鑑「大きな木の小さな物語」、・おもしろい木の話

■ 今月の幹事会

出席者(12/8):大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井・西野(澄)・松藤・三橋・矢澤・矢野

1. 2022年1,2月スケジュール(1月幹事会1月7日(金)):業務委員会11:30、幹事会13:00開始
2. 2021年10月会計報告:項目移動を確認。
3. 2021年度第2回理事会議事録について:確認。
4. 森林・山林多面交付金事業11月の活動報告:了承。
5. 澄川都市環境林の今後の在り方、札幌市との協議:12/9事前打合せ、12/15ワークショップ参加6,7名。
6. 2022年度第7期親子森林教室に向けて:継続者と待機者で定員に達する見込み。
7. 現場報告
 - ・11/15澄川南小対応:学校にてバーニングペンを使って名札作り。不足バーニングペンは道庁から借用。
 - ・11/20小屋整理、物品調べ:無くなった物は無い。
 - ・刈払い機の使用可能台数:7台と少ない。次年度以降の活動を考慮して購入検討。バッテリー式機器の導入を検討。
 - ・整理伐調査:D-1~8調査終了。E-7区残りと合わせて十分な量有り。
8. その他
 - ・野幌国有林「社会貢献の森」現地視察:2022年度活動開始。植栽方法、樹種についてさらに検討。
 - ・20周年記念専門委委員:記念行事は2022年10/2に予定。記念誌、記念品(日本タオル)の準備。
 - ・交通費支給基準:「歩き」参加者の交通費見直しを了承。
 - ・2022年度活動計画(案):1月幹事会までに意見を集約し、3月の会員例会で確認。
 - ・両手引きノコの購入:親子森林教室や20周年記念行事で使用。購入を了承。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
11月16日(火)	野幌国有林	4	江別市トド山地区現地視察
11月20日(土)	澄川	20	小屋整理、機器整備、物品調べ
11月21日(日)	ラルズ生活研究センター	9	澄川の森検討会
11月24日(水)	澄川	14	冬季整理伐材選木、簡易乾燥小屋整備
11月26日(金)	澄川	16	冬季整理伐材選木、簡易乾燥小屋整備
11月30日(火)	札幌エルプラザ	28	会員例会、忘年会(ホテルポールスター札幌)
12月4日(土)	澄川	20	標準木調査、冬季整理伐材選木
12月7日(火)	澄川	18	標準木調査、冬季整理伐材選木
12月8日(水)	ラルズ事務所B1	11	幹事会
12月10日(月)	澄川	20	標準木調査、マキ作り
12月12日(日)	澄川	12	標準木調査、マキ作り、小屋回り整理
12月15日(水)	バスセンタービル 札幌市 みどりの管理課	7	札幌市との澄川都市環境林にかかるワークショップ